

令和2年度 第1回 横浜市芸能センター指定管理者選定評価委員会 会議録

- 1 日 時 令和2年11月26日（木） 10時00分～11時45分
- 2 場 所 横浜市役所18階みなと4・5会議室
- 3 出席者 上杉 幸雄 委員、垣内 恵美子 委員、加世田 恵美子 委員、藤崎 晴彦 委員
- 4 欠席者 無し
- 5 傍聴者 無し

6 議事内容

議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長選出 2 定足数の確認 3 委員会の公開・非公開について 4 議題1：令和元年度業務評価 5 議題2：指定管理者選定関係資料 6 その他
議事・ 委員意見等	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長選出 「横浜市芸能センター指定管理者選定評価委員会運営要綱」第6条第1項に基づき、委員の互選により上杉委員を委員長に選任した。 2 定足数の確認 委員数4名のうち4名の出席により定足数を満たしており、会議の成立を確認した。 3 委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜市芸能センター指定管理者選定評価委員会運営要綱第9条に基づき、「議題1：令和元年度業務評価」の審議については公開、「議題2：指定管理者選定関係資料」の審議については非公開とした。 4 議題1：令和元年度業務評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 指定管理者による自己評価 指定管理者から、令和元年度の実績及び自己評価についての説明があった。 (2) 行政評価について 評価表に基づき、事務局から行政評価の要点について説明があった。 (3) 委員による評価 委員から指定管理者に対する評価内容の説明及び質問を行った。 <p>《評価内容の説明》 「I文化事業①」について 【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業全体として良好であり、特に多様なプログラムを用意することで顧客満足につながり、誘客や入場料収入につながるという好循環となっている。

- ・若手育成や次世代育成をコンセプトとして明確に打ち出しており、のげシャワーの施設規模に合った事業を展開している。
- ・広報においてtwitter等のツールを活用して、広く興味を引き付ける工夫を行っている。

【更なる取組を期待する点】

- ・災害やコロナへの対応を検証し、効果的手法を今後の運営に活かすとともに、マニュアルの改訂にも取り組んでほしい。
- ・貸館については、活用事例を発信するなど、利用率の改善を期待する。
- ・公設の大衆芸能の拠点として学校や文化施設と連携しているが、そうした要請が来るような情報発信や受入態勢の充実など更なる可能性を期待したい。
- ・時代に合わせてにぎわい座が果たすべき役割を常に考え、オンライン配信や新たな資金調達についても検討してほしい。

5 議題2：指定管理者選定関係資料について

事務局から選定スケジュールと選定方法（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団を非公募（単独指名）により選定）について説明を行い、了承された。続いて、事務局から選定関係資料（選定要項、業務の基準、提案課題、評価規準項目等）の説明を行い、委員の意見交換を行った。管理業務等に関する資料については、事務局に一任することを確認した。

【主な委員意見及び事務局回答】

(1) 選定スケジュールと選定方法

- ・意見なし

(2) 選定要項

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で公演チケットの販売枚数を抑えるなどした収益の減少分は指定管理者側の責になるのか、行政が対応するのか。
→リスク分担表では協議事項としています。一方的に指定管理者の負担になるものではなく、例えば令和元年度分は減収分を市が補てんしています。補てんの範囲については協議の中で決めてまいります。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響は補てんされるようだが、光熱水費の高騰については予算ではどの様に考えるのか。
→光熱水費等の管理費についても上下する可能性はありますが、そうした変動要素も含めて、例えば省エネ備品に更新して対応するなどの努力をして、経営を成り立たせてもらいたいという趣旨です。

(3) 業務の基準

- ・既存の使命1から6までと、使命7の位置付けについて説明をお願いしたい。
→基本的に指定管理者から提案をもらうのは通常の施設運営を想定した使命1から6までです。使命7については、新型コロナの影響が長期化した場合に、自主事業の回数や観客数の減などへの対応についての考え方を提案していただきます。次期指定期間前にこの感染症が収束すれば必要なくなる組み立てにできればと思っております。
- ・次期指定期間において大規模改修は予定しているか。
→次期指定期間においては予定しておりません。

	<p>(4) 提案課題及び評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使命7の配点について、どのように配点するかは難しいところであるが、にぎわい座設立の目的とは異なるので、本来の使命に重きを置いて、使命7については低く設定してはどうか。 ・「5 総合」の項目については、使命1から6までの項目と重複する部分もあると思われるが、どのように評価するのか。位置づけとしては「その他」が妥当と考える。 →ご意見を踏まえて、項目及び配点を見直します。 <p>(5) 管理業務等に関する資料の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見なし <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本委員会についてはオンラインでの開催も検討してほしい。 →確認してまたご連絡させていただきます。
<p>審議結果</p>	<p>「議題1：令和元年度業務評価」については、本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。</p> <p>「議題2：指定管理者選定関係資料」については、スケジュールに沿って公益財団法人横浜市芸術文化振興財団を非公募（単独指名）により選定を進めることを了承し、選定要項、業務の基準、提案課題、評価規準項目についての各委員の意見を踏まえ、委員長と調整を行ったうえで確定する。確定した選定関係書類は、各委員に送付するとともに本市ウェブサイト上で公表を行う。</p> <p>また、議事録については委員長確認後に確定のうえ、公表する。</p>